

令和5年度第1回茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会会議録

議題	<ul style="list-style-type: none"> 1 令和5年度主催事業報告（4月～7月実施分）について 2 諮問に対する答申案作成の方向性について 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度審議会委員等研修について (2) 公民館運営審議会委員連絡協議会について (3) 電気設備改修工事に伴う臨時休館について
日時	令和5年7月26日（水）13時30分～15時
場所	茅ヶ崎市立鶴嶺公民館2階学習室2
出席者氏名	<p>会 長 岩壁 榮</p> <p>副会長 岡野 一郎</p> <p>委 員 田中 節夫</p> <p style="padding-left: 40px;">山本 和男</p> <p style="padding-left: 40px;">渡辺 孝</p> <p style="padding-left: 40px;">堀内 秀行</p> <p style="padding-left: 40px;">金井 秀子</p> <p>事務局 担当課長 荒 名穂子、主任 三谷 恭子</p>
会議資料	<p>次第</p> <p>資料1 令和5年度主催事業報告（4月～7月実施分） （別紙）小学生サークル体験一覧</p> <p>資料2 茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会への諮問に係る答申作成スケ ジュール（案）</p>
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人

(事務局)

皆様、本日は公私ともに大変お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

それでは、これより、令和5年度第1回鶴嶺公民館運営審議会を開催いたします。

会議に先立ちまして、4月の人事異動で館長が代わりましたので、ご紹介させていただきます。

～館長挨拶～

この審議会は、公開となっております。本日の傍聴はありません。

それでは、この後の議事進行につきましては、岩壁会長にお願いいたします。

(岩壁会長)

委員の皆様、お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。議事を進める前に、会議録の作成方法についてご説明いたします。この会議は公開となっております。会議録を作成するにあたり、会議録の内容について委員に確認し、その旨を記録として残す対応となります。会議録の内容確認は、会長に一任でよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは議題に入ります。議題1「令和5年度主催事業報告（4月～7月実施分）について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料1及び資料1（別紙）をご覧ください。4月から7月に実施した事業の実績を一覧にしています。

子ども事業は3事業行いました。「子どもの広場」は、年に5回、様々な体験や他校・他学年の子ども同士の交流を図る事業で、6月に折り紙教室を行いました。今後は、運動や料理を体験する内容を実施予定です。「小学生サークル体験」は、鶴嶺公民館の登録団体に、小学生対象にした体験会の実施を募り、現在開催しているものです（資料1（別紙））。近隣3小学校の全校生徒に配布し、かなりの申込みがありました。ヘルパンギーナの流行等もあり、残念ながら当日キャンセルの参加者もいますが、参加した子どもたちは、楽しんでくれている様子が伺えます。「親子歯みがき教室」は、花王グループカスタマーマーケティング株式会社（以下「花王グループ」）の協力のもと行っている事業です。今年度は、花王グループに協力していただく事業がいくつかあります。

家庭教育支援関連事業は、2事業行いました。「子育ての広場カルガモ」は、毎月第4木曜日に、乳幼児を持つご家庭を対象に、同世代の親同士の交流・息抜きの場を図る事業です。

シニア事業は、3事業行いました。「遊々クラブ」は、梅干し作りを行いました。「シニアのためのスキンケアメイク」と「口腔ケア講座」は、花王グループに協力していただき行いました。「口腔ケア講座」は、5館連携講座で、松林公民館がメイン会場となって、鶴嶺公民館は、サテライト会場でしたが、残念ながら、鶴嶺公民館での参加申し込みはありませんでした。

博物館連携事業は、7月までには実績がありませんが、8月に、「小出川植物標本づくり」を実施予

定です。

地域課題解決等事業では、7事業行いました。「鶴嶺西地区グラウンド・ゴルフ体験会」は、鶴嶺西地区社会福祉協議会と共催で、公民館隣の萩園第三公園で行いました。前任の審議会委員から、萩園第三公園の活用について答申をいただいたこともあり、11月にもグラウンド・ゴルフを体験する事業を実施予定です。

学習成果活用・学習情報提供事業は、3事業行いました。「公民館ウィーク」は、市役所の市民ふれあいプラザで展示を行い、公民館のPRを行いました。「つるみねオープンサークル」は、鶴嶺公民館でサークル活動を行っている団体のサークル体験も兼ねて事業を行っているものです。7月までの実績としては、鶴嶺てんこく会による「てんこく印づくり」を行いました。ロビー展は、随時行っており、現在は、県立茅ヶ崎支援学校（旧：茅ヶ崎養護学校）の学校紹介展示をしています。茅ヶ崎支援学校は、今年度から、共生社会推進専任の先生が配置されることになったということで、公民館と何かできないかという相談を受けました。まずは、ロビーで学校紹介を行い、地域の方に知っていただくということになりました。今後も、様々な形で協力していきたいと考えています。

公民館利用者活動支援事業では、「利用者懇談会」の活動があり、また、「利用者懇談会5館協議会」がありました。7月に、鶴嶺公民館であつまり、意見交換を行いました。以上です。

（岩壁会長）

説明が終わりました。ご意見、ご質問はございますか。

では、まず私から、茅ヶ崎支援学校の皆さんはバスで通学しているのですか。

（事務局）

そうです。委員のみなさんも、地域の見守り活動等で、市立小学校の子どもたちと顔を合わせる機会があると思いますが、バス通学ということで、地域のみなさんにより馴染みがないところがあるようです。

（岩壁会長）

先生方や生徒も、学校外の方との交流を望んでいる方もいるのでしょうか。今回は初めてですか？

（事務局）

これまでは、公民館まつりで生徒の作品展示や、催物発表に参加していただいていたこともありますが、専任の先生が配置されたということで、これまで以上にということがあるのだと思います。

（堀内委員）

鶴嶺西地区社会福祉協議会にも、市社会福祉協議会を通じて交流がありました。昨年度も鶴嶺西コミ

ユニティセンターで講話をしていただいています。

(岩壁会長)

他に質問がなければ、次の議題へ移ります。議題2「諮問に対する答申案作成の方向性について」です。前回、前任の館長から諮問がありました。諮問内容は、「公民館をあまり利用していない人たちに、公民館を知ってもらい、公民館に足を運び、公民館活動に参加してもらうために必要な方策等について」です。これについて、みなさんのご意見を伺いたいと思います。

皆さんの意見を踏まえて、これから検討するにあたり、今後参考になるような時代に合った答申をしたいと考えています。最終的には、来年の3月の第3回の公民館の審議会で、館長に提出するスケジュールですが、これだけではなかなか議論を尽くすことができないと思いますので、必要に応じては、これとは別に検討会を開くことも必要だと考えています。岡野委員、ご意見ありますか。

(岡野委員)

過去の答申を読みましたが、昭和57年に公民館が開館して41年になります。やはり建物自体も老朽化してきて、少子高齢化時代に、利用者も減っていく中、公民館という役割をどのように見直して、みなさんに利用してもらうか、施設として活用していくかというテーマで諮問を受けて、非常に難しい課題だと感じました。世の中がコロナで激変してしまったところを、もう一度地道に進めていくしかないのかなと感じています。先ほど説明がありました主催事業ですが、もっと魅力的な内容にできないかと考えていました。みなさんのニーズに合った事業を企画して、地域住民の一人でも多くの方に知っていただく。とにかく知っていただかないことには、どんなにいい提案をしても来館していただけないということになります。ですので、広報、告知の仕方を工夫していかないとなかなか公民館に来てくれる人は増えないのかなと思いました。コミセンが10年前にできて、コミセンの方は、建物も新しいですし、小学生・中学生が放課後にわいわい集まっている様子も見受けられます。そういった点からしますと、建物が古くなってしまった点では、厳しい課題ですが、建て直すというといっても、財政的に厳しいと思いますから、この施設で活用できる、ある程度ターゲットを絞って行く必要があると思います。労働している人たちに来てほしいというのは、なかなか現実的には厳しいと思いますので、小学生～高校生を中心に、あとは高齢化の時代ですから、60歳以上のニーズに合ったサークル等いろいろと提案して、公民館に一週間に一回は足を運んでいただける体制ができればと感じています。

(堀内委員)

利用していない人にきてもらうというのは難しいと思います。今、岡野委員が言われたように、興味をひく事業をやっていくしかないと思います。何かやらなきゃ集まってこないと思います。

(岩壁会長)

公民館だけでなく、諸団体にとって、この3年間というブランクは大きいです。先日4年ぶりに浜降祭が開催されましたが、準備などもブランクがあって引き継がれていないので、なかなか大変だったようです。他にも、地域によっては、盆踊りや鶴嶺の体育祭、防災訓練等が実施されますが、ほとんどが4年ぶりの開催なので、経験者に入っていないと、事が進まないようです。そういう意味では、公民館も同じだと思います。先ほど説明された「子どもの広場」というのは、大勢のお子さんが参加されているようですし、内容によっては、結構な方が参加されています。「グラウンド・ゴルフ体験」も多くの方が参加されているので、岡野委員がおっしゃったように、みなさん興味を引くような内容にすることで、参加してみようというところがあるのだらうと思います。他の団体や学校とも、よく連携をとりながら、PRをしていくことも必要なのかなと思います。

(田中委員)

私は利用者の立場からの考えになります。今回の「利用していない人」と設定が出ていますが、活動しているサークルも、どんどん高齢化してメンバーやサークル数も減っていることが実態としてあります。今回のターゲットは、そういったサークルももっと増やしたいというところなのか、主催事業の参加者をもっと増やしたいのかどちらなのでしょう。また、気になっていることは、公民館は社会教育施設ですが、鶴嶺西コミセン・鶴嶺東コミセンといった同じような施設がここ10年でできたことで、利用者の絶対数が同じだとすると、当然公民館の利用者は減ってしまいます。その中であえて増やそう増やそうというのは、ただ単純にそういうことではないなと思います。「利用していない人」というのは、どういう人を想定しているのかなと思っています。全然関心ない人に、いくら照準を合わせても捉えられないと思います。やたら何かをやるのではなく、「利用していない人」の中でも、どういう人・どういう年代に焦点を当てるかだと思います。先ほど子どもや高齢者というターゲットがあって、働いている人は、忙しすぎて、現実には難しいという話がありましたが、一番来てほしいのは、そういう方な野だと思います。日本人自体がもっとゆとりを持つように変わっていかないと、おそらくこういう施設はなくなっていくと思います。社会教育という堅苦しい言葉ですが、公民館は社会教育施設です、というのをもっとみんなに意識してくれてないと、単なる貸館になってしまうと思います。コミセンがあって、公民館があって、自分にあった事業があったら行こうという程度になってしまうので、それだと競合している安売り店と同じで、いつまでたってもダメだと思います。発想の転換や、アピールの仕方など、そういうものを含めて、もっと基本的なところから考えていかないと、なくなっていつてしまうという危惧は現実的に感じているのですが、そこをどうしたらいいかと自分で考えてわからないという状態です。

(岩壁会長)

ここは災害の時は、避難所ですか？

(事務局)

今は、二次避難所です。一次避難所は小・中学校です。

(岩壁会長)

令和元年度の台風19号の時はどうでしたか。

(事務局)

台風などの水害時は、鶴嶺公民館は避難所として開設されません。令和元年度の台風19号の時は、萩園中学校が避難者であふれてしまったということは聞いています。

(岩壁会長)

私もあの時は、鶴嶺地区の避難所を回りましたが、市内でも3,800人くらい避難して、一番多かったのが鶴嶺小学校だったそうです。

こういう災害時に、顔見知りを作るという意味でも、公民館の主催事業に参加する意味があると思います。災害時に、顔見知りがいれば、たとえ名前を知らなくても、不思議とお互い協力体制ができたりします。鶴嶺公民館というのは、対象地域が円蔵から平太夫新田だと思いますが、そこまで広く考えてしまうと、地域になじんだ活動がなかなかできないとは思いますが。まずはこの周辺で、自治会や地区社教等と協力しながらやっていくことが一番現実的なのかなと感じます。

諮問に対する意見として、金井委員何かありますか。

(金井委員)

日頃からここが認知されて、みなさんがいろんな場面場面で来られる場所にするにはどうしたらいいかなというのを考えてます。主催事業を見ると、参加している小学生は公民館に来てこのことを知っているけれども、おそらく今の中学生は、部活もあって、公民館を知らないし、来ないだろうなと思います。なので、もう少し対象を広げて主催事業が開催できたらいいなと思います。ちょうど防災の話が出たので、例えば防災に関することというのは、学校でも総合学習で取り上げているので、そういう時にタイアップして、公民館に防災に関するいろんな展示物があったり、イベントがあったりすると、公民館にこういふことができるなと思いました。楽しむ事業だけでなく、いざという時に関わる企画があると、中学生たちもくるのかなと思いました。ぜひ中学生にもて高校生にも、認知させたいなと思っています。

(岩壁会長)

ここは調理器具もあるから、災害時の食事などの企画だと、中学生も参加しやすいのかなと思います。まじめなことだけではなく、何か一工夫も必要なのかなと思います。

(渡辺委員)

コミセンは、いろいろレクリエーション団体があつて、馴染みやすく、行きやすいムードがありますが、公民館は堅苦しいイメージです。公民館まつりだと、萩園第三公園で模擬店が出てたりするので、ああいうものがあると、親子で一緒に公民館に移行ということもあるかと思います。

(山本委員)

公民館運営審議会の研修に参加してこれからの公民館をどうするかいろいろな事例を学ぶ機会がありました。最初は真似から入って、そこから経験値が出て、次につながると思うのですが、なかなか真似できそうな事例がありませんでした。

昨日青少年育成推進協議会で、西コミセンで子ども大会を行ったのですが、中には、お手伝いに来た3人の小学生をスタッフで入れたんです。これから、ああいうスタッフという形で、臨機応変にやりたいという子を取り込んだ方が良くないかと思いました。最近、中学生をボランティアにいれようという話が出てくるのですが、小学生でも、本人がやりたいというのが出てくると、こういうのもいいのかなと思いました。

(岩壁会長)

今回の諮問で考えることは大きく二つなのだと思います。一つは、公民館を知ってもらう、足を運んでもらうための、周知活動、そして二つ目は、参加してもらうための方策、だと思います。ある程度、二つを絞り込んで、委員それぞれの考え方があってと思います。今日はある程度のご意見を発表していただきましたけども、次回までに、二つの項目のご意見をより具体的に箇条書きで書いていただき、それを事務局にまとめてもらい、それを中心に議論するという形で進めたいと思います。

2回目の審議会が11月の予定になっていますが、もう少し早めの、9月の下旬頃に検討会を開きたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(岡野委員)

賛成です。

(日程調整し、9月28日(木)14時から検討会開催となった)

(岩壁会長)

11月の審議会の予定も決めてしましましょう。

(日程調整し、11月22日(水)13時30分から開催となった)

(岩壁会長)

議題3「その他」について事務局より何かございますか。

(事務局)

一つ目、令和5年度審議会委員等研修について、社会教育課からすでに案内があると思いますが、8月4日に開催されますので、ご出席される方はどうぞよろしくお願いいたします。

二つ目、公民館運営審議会委員連絡協議会について、鶴嶺公民館は幹事となっており、昨年度は、堀内委員に幹事となっていました。任期が一年なのですが、今年度も引き続き幹事となっていていただくことは可能でしょうか。

(堀内委員)

引き受けます。

(事務局)

ありがとうございます。今年度の公民館運営審議会委員連絡協議会の開催日は現在未定です。決まりましたら、またご案内いたします。

三つ目、電気設備改修工事に伴う臨時休館について、消防設備等電気設備の改修が年明けに行われることになりました。工事期間が令和6年1月4日～12日となりますので、年末年始の休館と合わせて、令和5年12月28日～令和6年1月12日が休館となります。

(岩壁会長)

そのほか 委員の皆さまから 何かございますか。

他になければ、以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。